



令和7年度第1回福祉用具プランナー 認定講習 in 東京（小平市）

- 主 催 ：公益財団法人テクノエイド協会
- 実施機関：公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団
- 開催日 e-ラーニング期間 令和7年5月7日～7月4日
集合研修 【前期】 令和7年7月9日 ～12日
【後期】 令和7年7月24日～26日
- 開催場所：フランスベッド（株）メディカレント東京3階会議室
- 受講者数：21人
- アンケート回答者数 前期17人（回答率81.0%）
後期13人（回答率61.9%）

福祉用具プランナーとは

福祉用具を必要とする高齢者や障害者に対し、必要な福祉用具の選定を援助、適切な使用計画を作成、利用の支援、及び適用状況をモニター・評価まで行うことのできる専門家。（テクノエイド協会福祉用具プランナー情報より引用）

福祉用具プランナ認定講習の目的

- ◆ 介護の現場において適正な福祉用具の利用が促進されるよう、福祉用具に関する知識や個々の福祉用具の利用方法などの専門知識を有する人材の育成を図る。
- ◆ 福祉用具に携わる様々な職種の対象者に、福祉用具の取り扱いについての共通認識を育て、それを基盤として福祉用具の適切な利用と供給の実現に資すること。

福祉用具プランナーの業務と役割

1. 福祉用具に関する一般的相談
2. 福祉用具プランの作成
3. 福祉用具の利用支援
4. 福祉用具適用後のモニター・再評価



高齢生活研究所代表
浜田 きよ子 先生
排泄関連用具



横浜市総合リハビリテーションセンター
理学療法士 藤井 智 先生
移乗・移動・入浴関連用具他



在宅りはびり研究所 所長
吉良 健司 先生
相談援助のためのプランニング演習

講師紹介



とちぎノーマライゼーション研究会
理事長 伊藤 勝規 先生
住宅改造



公益社団法人山梨県看護協会貢川訪問看護ステーション
皮膚・排泄ケア認定看護師 後藤 茂美 先生
床ずれ防止関連用具



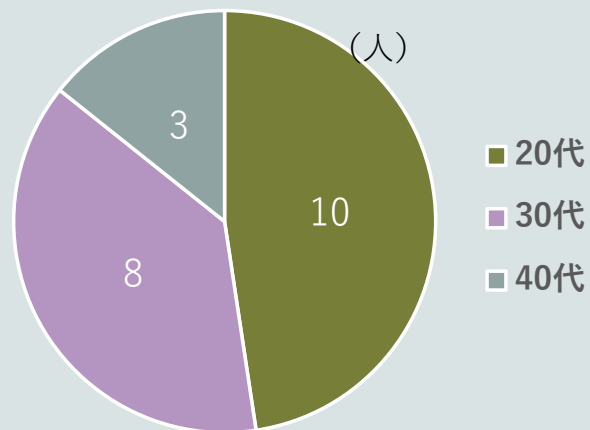
大和大学 教授
辻村 肇 先生
構造とメンテナンス



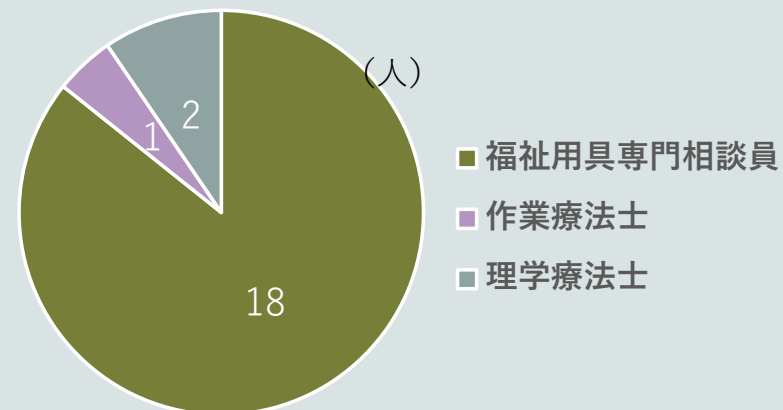
テクノエイド協会研修部部長
矢沢 由多加 先生
最新情報／職業倫理とリーダーシップ／対人援助技術

受講生の概要 受講者数 21人

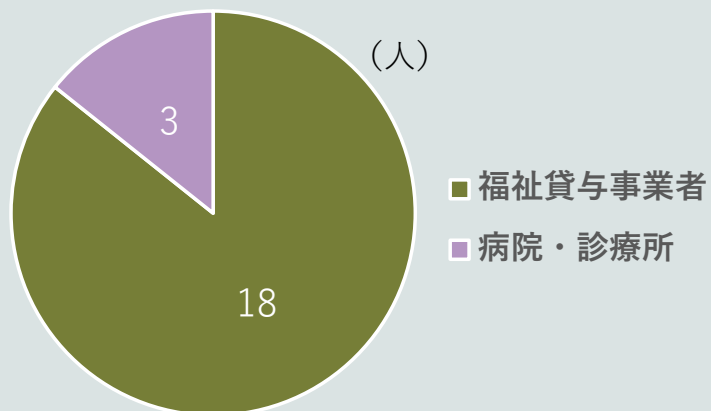
年代



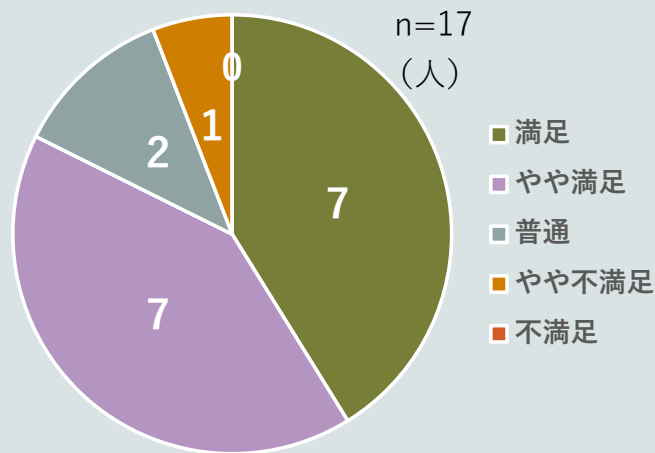
職種



所属機関



満足度（前期）



満足を選択した理由（抜粋）

- 私自身としてアセスメント力が向上したと感じている。
- 今まで聞いたり、テキストから情報を得て、知っていると思っていた事が、実技を通じて学び、自分の説明の仕方が未熟であったと自覚した。自分の知識や提案力の向上に繋がったと実感した。
- 介護技術、製品情報、業界動向が日々変化する中で、専門家の方々より解説いただける機会はとても貴重。今回の講習では、新しい知識や技術の習得に加え、今まで持っていた古い知識もアップデートやブラッシュアップできたため、大変勉強になった。



やや満足を選択した理由（抜粋）

- 講義だけでなく、実技の時間が多く取られているのが良い。ディスカッションではそれぞれの職種が知識を補いながら進めており学びを深める事ができた。
- 使用頻度の少ない器具を体験できるところ。しかし、時間に制約があり、全てを体験するには時間が必要だった。
- 普段出来ない体験での実習を行うことで、利用者様がどういう感覚で用具を使われているのか、より想像し易くなった。1点、車いすの寸法の測り方等、もう少し詳しく教えてもらえると有難い。

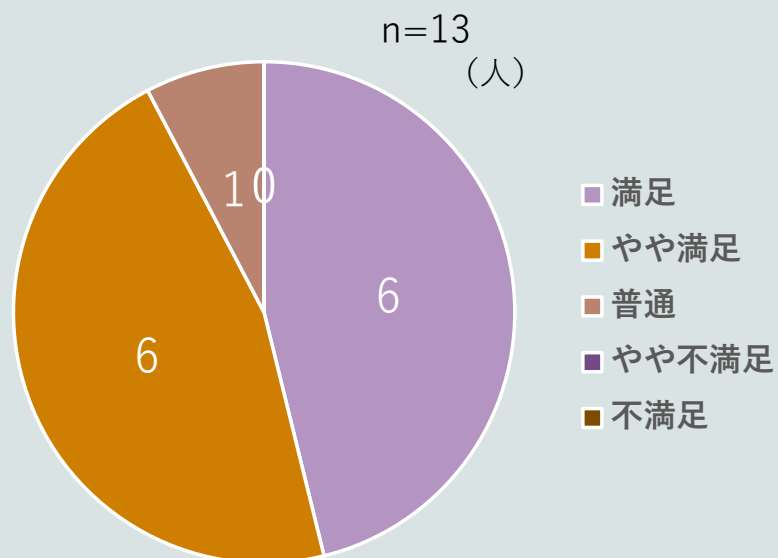
普通を選択した理由

- 安全面への配慮が足りない実技講習があった事。カリキュラムの時間通りではない講義が多々あったため。
- 研修の内容の興味にばらつきあり

やや不満足を選択した理由

- 人員不足のある営業所なので自分自身が抜けてしまうことで所属する営業所へ多大な迷惑をかけてしまっているから

満足度（後期）



満足を選択した理由

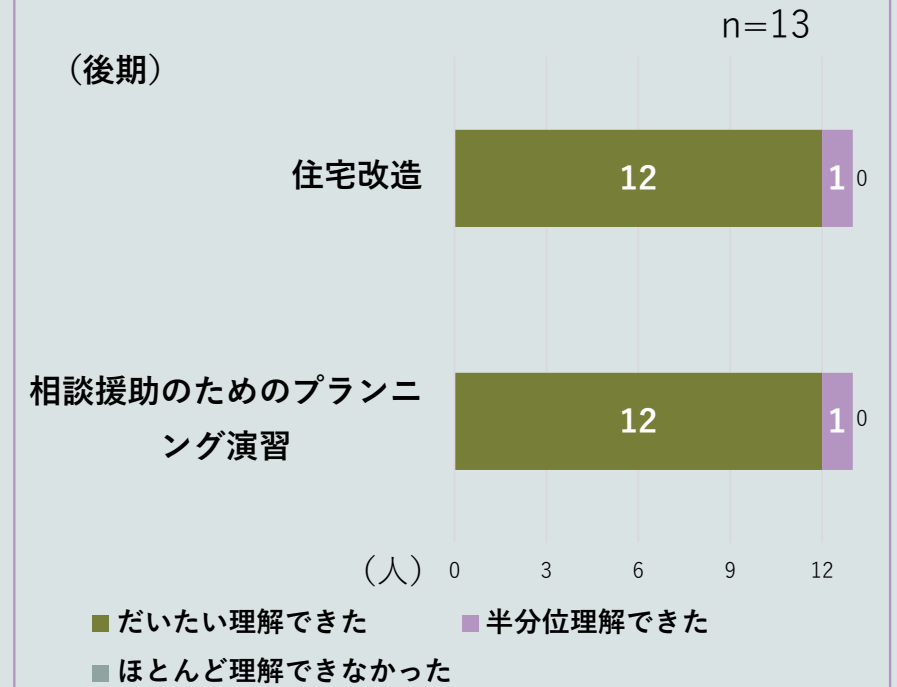
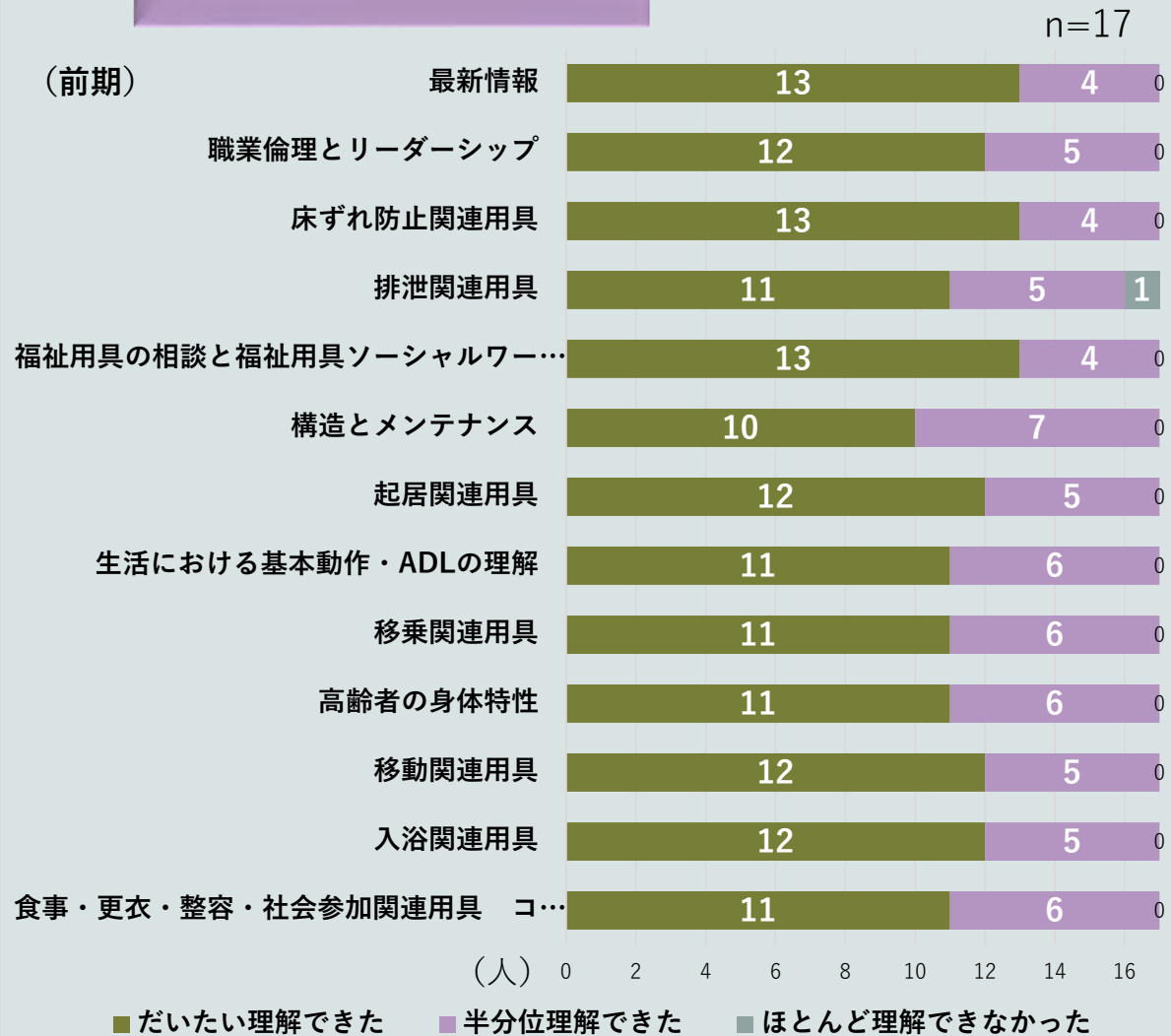
- 図面の書き方を改めて見直すことが出来て良かった。
- アセスメント力が向上していると感じている。具体的には車いすの付属品等の選定と実際に座っている人の気持ちをよく理解することができた。
- これまでの業務上で自分が疎かにしていた部分に分かり、今後の活動で意識して改善すべき点が把握できた。
グループワークを通じて、他の方の考え方を学ぶことができた。

やや満足を選択した理由

- 限られた時間内で説明して頂いたが、より現場に落とし込みしやすい事などについてメリハリをつけた説明があると活かしやすい。
- 実際に演習でプランニングをしたので、この資格研修の直接的な部分を学べた。
- 研修に参加する事で知り得ない情報や、関わりについて知ることが出来た為。
- 現場に行かせる知識や同じ職域で頑張る方々と交流することができた。

※普通を選択した方は理由記載無し⁵

科目別理解度



研修の改善点

前期のご意見

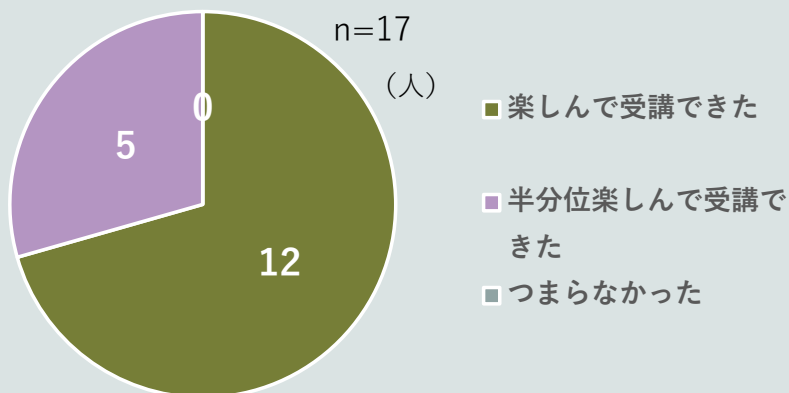
- テキストを使用している講義がとても少なかった。
- 実技に関してもう少し分かりやすく説明して欲しい。
- 車いすの修理方法にリクライニング車椅子などもあるといい。
- 座学については、講師と重複した内容にも関わらず、名称や数値が異なるケースがあった。（具体例 車いすの座幅選定について、自分の座幅に対して各々の方向に+15mm必要or+20mm必要と数値が講師によって割れていた）
正解が1つではない事と、大体の数字が合致している事は認識しつつも、テストで出題される事を考慮すると不安材料になった。
- 講師の問題もあるので難しい事はわかっているが、補習日的な予備日も作りつつ、自身の業務も考慮できる体制がとれればと思う。
- 講習時間が19時までと長く感じる。日数を増やしてでも、18時までに終了すると、余裕を持って講習を受けることができる。
- 後期の初日の開始時間が早く、場所も駅から遠くアクセスが悪いので、遠方から来る場合に間に合わない。前乗りの必要が出てくる。
- 休憩時間が明確になっていない時がある。
- 休憩時間が短く電話の時間確保ができなかった。
- 受講前は、受講時間が9時～19時までと長いように感じたが、実際の講義はあっという間だった。演習と実技を織り交ぜながら先生方が工夫していたので、4日間集中できた。

後期のご意見

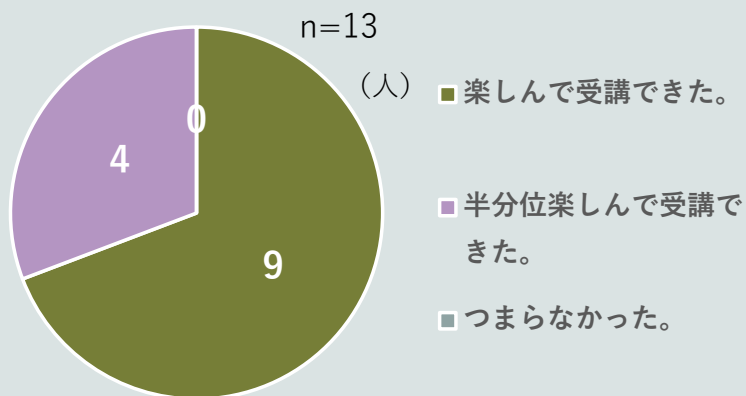
- グループで相談してのプランニングを2日に分けて2事例行ったが、その時間（数）をもっと増やしてより細かいフィードバックがあれば、より自分のスキルアップに繋がると思う。
- プランニング演習についてはもう少し時間を取っても良いのではないかと感じた。
理学療法士として参加したが、基礎知識として知っている内容もあった為、配分を変えても良いのではないかと。
理学療法士だけでなく福祉用具専門相談士や貸与業者が多く参加する事を想定していると思うので、難しいかと思うが…
- 車いすのメンテナンスについてもっと実技があるといいと思った。
具体的には、実際にここが劣化しているため直すなど、より実践向けた内容がいいかと思う。
- 前期に比べてグループワークが少なく、コミュニティが広がらなかったのが少し残念だった。
- テストの後に参加メンバーと名刺交換などをする時間があると良かったと思う。終わったメンバーから順次帰る形だったので。
- 試験の出題範囲と講習内容をもう少しリンクしてもらえると助かる。
個人的に抜けていたのかもしれないが、研修で話されていない範囲の出題が数問あったと思った。
- スクリーンや講師側に時計が欲しかった。窓もない為、時間の感覚が分かりにくい。

ご意見（自由記載）

楽しんで受講できたか（前期）



楽しんで受講できたか（後期）



ご意見（自由記載）

- とても有意義な研修となった。
- 他の参加者の方々と交流できた所が良かった。
- 先生方の講義はもちろん、一緒に受講している方々からの意見も大変勉強になった。長く福祉用具の業界にいらっしゃる方、療法士の方、東京都以外からお越しで住宅環境が異なるなど、さまざまな情報を収集できた。後期の研修も非常に楽しみです
- 用具のセッティングや会場設営など、フランスベッドの方に感謝いたします。
- 使う用具が故障している事があり、使用できないなどのトラブル。
- 受講時間が長い
- 4班に分けるのもいいと思ったが、もう少し全体的に入り乱れていろんな人とブレストできる環境もいいと思う。
- 後期に限らずだが、開催場所のアクセスが悪くて行き来が大変だった。
- 会場のアクセスがやや大変だった。(猛暑、雨)
駅からの送迎バスなどがあると嬉しい。

講習の振り返り

- ◆ 今回の研修会は、概ねご満足いただけた講習会であったと評価しております。
- ◆ 一方で、参加者のご意見から、科目によってはより詳細な説明や演習を求める声が多く寄せられました。特に福祉用具の取扱いに関しては、受講生のスキルが高く、専門的な理解を深めたいという意欲が感じられました。今後は、受講生の経歴や経験年数などを事前に講師と共有し、講義内容の構成をより適切に検討する必要があると考えています。
- ◆ また、演習やグループワークを通じた受講生同士の交流を高く評価する声も多くありました。より多くの方が交流できるよう、グループ分けの工夫や交流の機会を増やす方法について、今後検討を重ねてまいります。
- ◆ 研修会場のアクセスに関しては、毎年ご意見をいただいております。改善の余地があると認識しています。今後は、交通手段や宿泊施設の情報提供を充実させるとともに、夏季の開催を避けるなど、受講生の身体的・精神的な負担に配慮した運営を心がけてまいります。



ご参加ありがとうございました！

受講生の皆様へ

- ・ このたびは、当財団主催の「福祉用具プランナー認定講習」をご受講いただき、誠にありがとうございました。
- ・ アンケートの集計結果は、次頁から掲載しております。ぜひご覧ください。
- ・ 皆様からいただいたご意見・ご要望を参考に、今後もより良い講習会の企画・運営に努めてまいります。ご質問やご提案がございましたら、どうぞお気軽に当財団までお問い合わせください。
- ・ また、当財団では本講習以外にも、さまざまな研修や活動を実施しております。詳細は当財団ホームページにてご案内しておりますので、ぜひご覧ください。

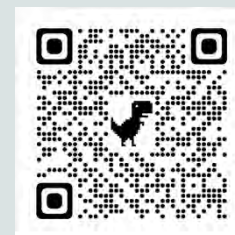
 公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団

e-mailアドレス info@fbm-zaidan.or.jp

〒187-0004

東京都小平市天神町4丁目1番1号 フランスベッド(株)メディカレント東京3階

TEL (042) 349-5435 FAX (042) 349-5419



令和7年度第1回 福祉用具プランナー 認定講習 in 東京 前期アンケート結果

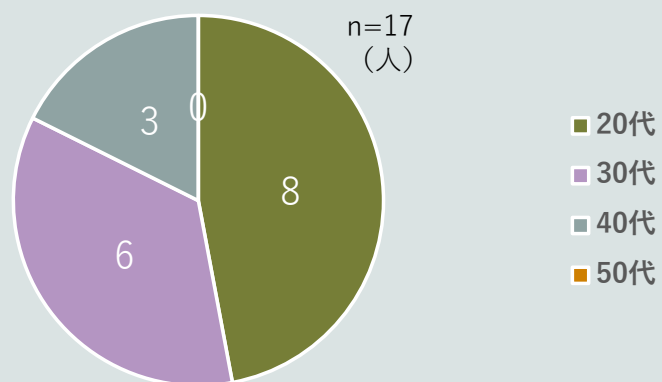


受講者数：21人
アンケート回答者数
前期17人（回答率81.0%）

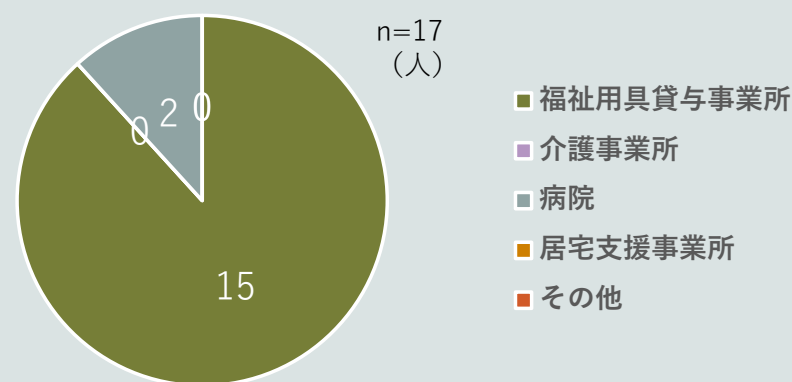


アンケート回答者の概要 回答者数17人(回答率81.%)

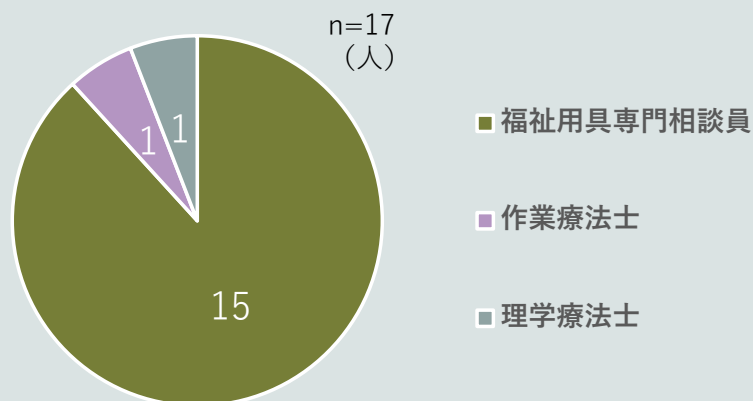
年代



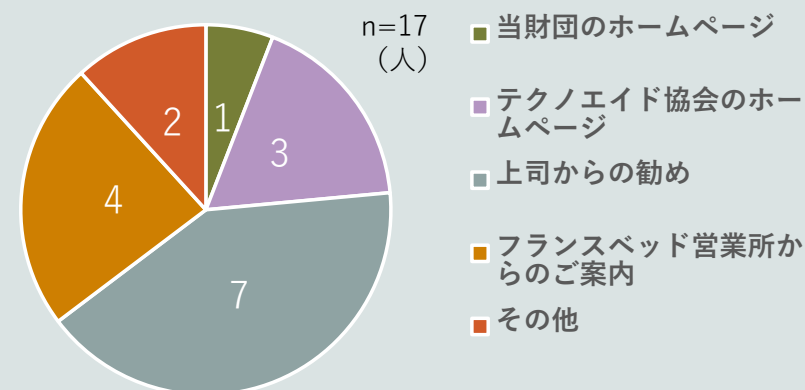
所属機関



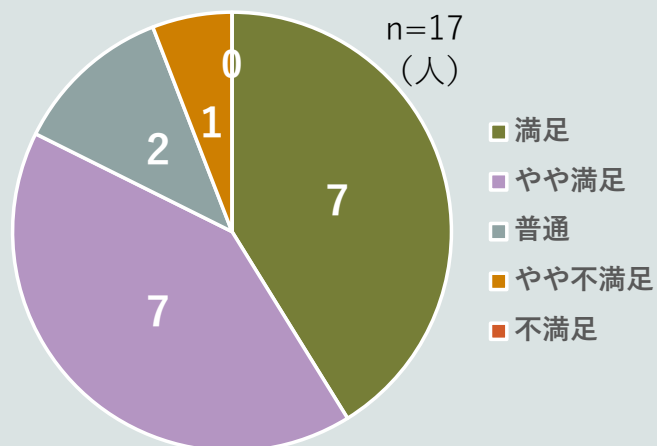
職種



研修を知った手段



満足度（前期）



満足を選択した理由

- 座学だけでなく、実際に体験する機会が多く設けられており、大変勉強になった。現場で役立つ知識が身についたと思う。
- 私自身としてアセスメント力が向上したと感じている。
- 今まで聞いたり、テキストから情報を得て、知っていたと思っていた事が、実技を通じて学び、自分の説明の仕方が未熟であったと自覚した。自分の知識や提案力の向上に繋がったと実感した。
- 介護技術、製品情報、業界動向が日々変化する中で、専門家の方々より解説いただける機会はとても貴重。今回の講習では、新しい知識や技術の習得に加え、今まで持っていた古い知識もアップデートやブラッシュアップできたため、大変勉強になった。

やや満足を選択した理由

- 専門的な内容について理解を深めることが出来たこと。また、他職種や同業他者との交流。
- 講義だけでなく、実技の時間が多く取られているのが良い。ディスカッションではそれぞれの職種が知識を補いながら進めており学びを深める事ができた。
- 全体的には満足だが講師のスケジュールの都合で本来の科目の順番が前後してしまったため
- 使用頻度の少ない器具を体験できるところ。しかし、時間に制約があり、全てを体験するには時間が必要だった。
- 普段出来ない体験での実習を行うことで、利用者様がどういう感覚で用具を使われているのか、より想像し易くなった。1点、車いすの寸法の測り方等、もう少し詳しく教えてもらえると有難い。

普通を選択した理由

- 安全面への配慮が足りない実技講習があった事。カリキュラムの時間通りではない講義が多々あったため。
- 研修の内容の興味にばらつきあり

やや不満足を選択した理由

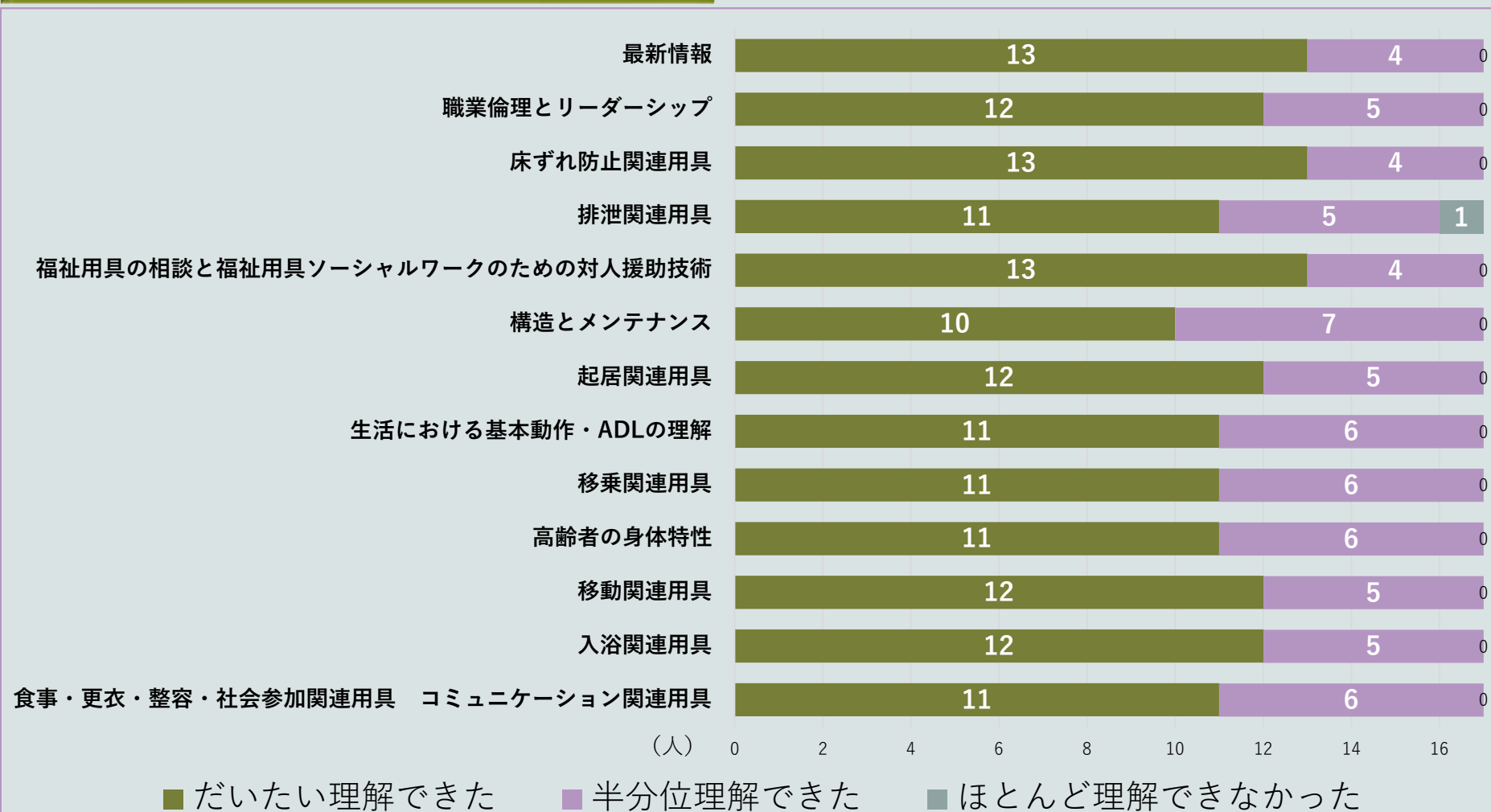
- 人員不足のある営業所なので自分自身が抜けてしまうことで所属する営業所へ多大な迷惑をかけてしまっているから

研修の改善点（前期）

- テキストを使用している講義がとても少なかった。
- 実技に関してもう少し分かりやすく説明して欲しい。
- 車いすの修理方法にリクライニング車椅子などもあるといいと思ったた。
- 座学については、講師と重複した内容にも関わらず、名称や数値が異なるケースがあった。（具体例 車いすの座幅選定について。自分の座幅に対して各々の方向に +15mm必要or +20mm必要と数値が講師によって割れていた）
正解が1つではない事と、大体の数字が合致している事は認識しつつも、テストで出題される事を考慮すると不安材料になった。
- 講師の問題もあるので難しい事はわかっているが補習日的な予備日も作りつつ自身の業務も考慮できる体制がとれればと思う
- 講習時間が19時までと長く感じる。日数を増やしてでも、18時までに終了すると余裕を持って講習を受けることができる。
- 後期の初日の開始時間が早く、場所も小平市で駅から遠くアクセスが悪いので、遠方から来る場合に間に合わない。前乗りの必要が出てくる。
- 休憩時間が明確になっていない時がある。
- 休憩時間が短く電話の時間確保ができなかった。
- 受講前は、受講時間が9時～19時までと長いように感じていたが、実際の講義はあっという間だった。演習と実技を織り交ぜながら先生方が工夫されていたので、4日間集中することができた。本当にありがとうございました。

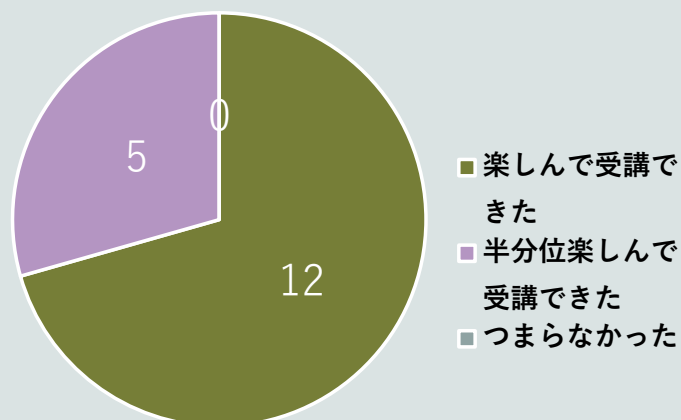
科目別理解度（前期）

n=17



その他

楽しんで受講できたか



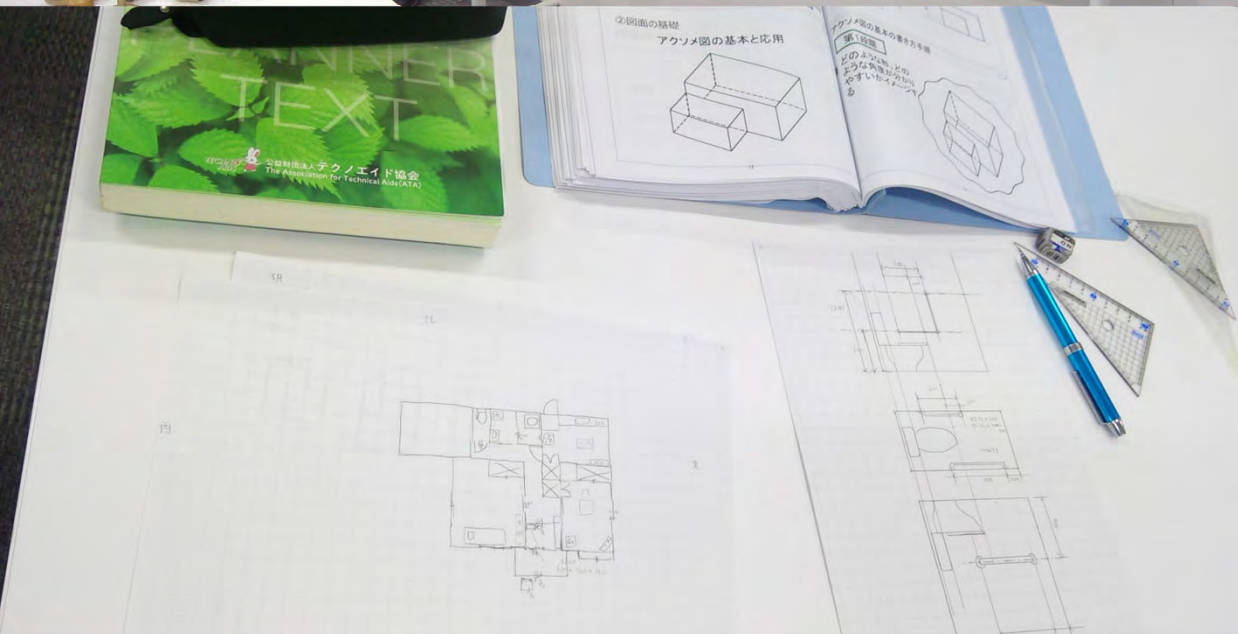
ご意見・ご要望など(自由記載)

- とても有意義な研修となった。後期も何卒宜しくお願い致します。
- 他の参加者の方々と交流できた所が良かった。
- 先生方の講義はもちろん、一緒に受講している方々からのご意見も大変勉強になった。
- 長く福祉用具の業界にいらっしゃる方、療法士の方、東京都以外からお越しで住宅環境が異なるなど、さまざまな情報をいただくことができた。後期の研修も非常に楽しみです。次回もどうぞよろしくお願いいたします。
- 用具のセッティングや会場設営など、フランスベッドの方に感謝いたします。
- 使う用具が故障している事があり、使用できないなどのトラブル。
- 受講時間が長い



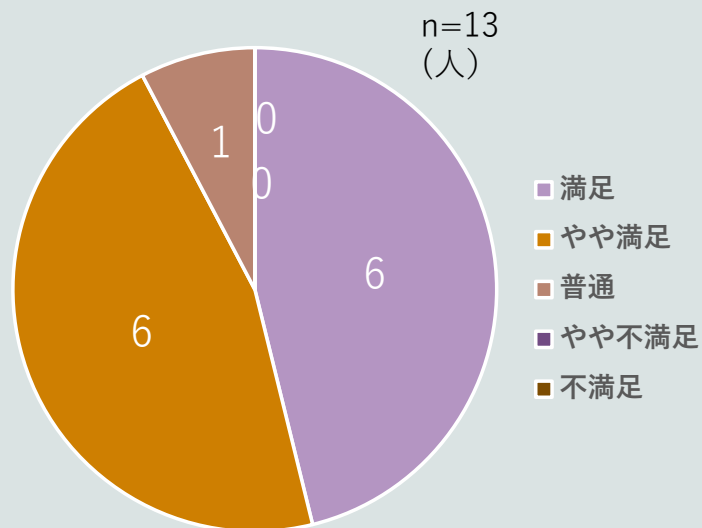


令和7年度第1回 福祉用具プランナー認定講習 in 東京 後期アンケート結果



受講者数：21人
アンケート回答者数
前期13人（回答率61.9%）

満足度（後期）



満足を選択した理由

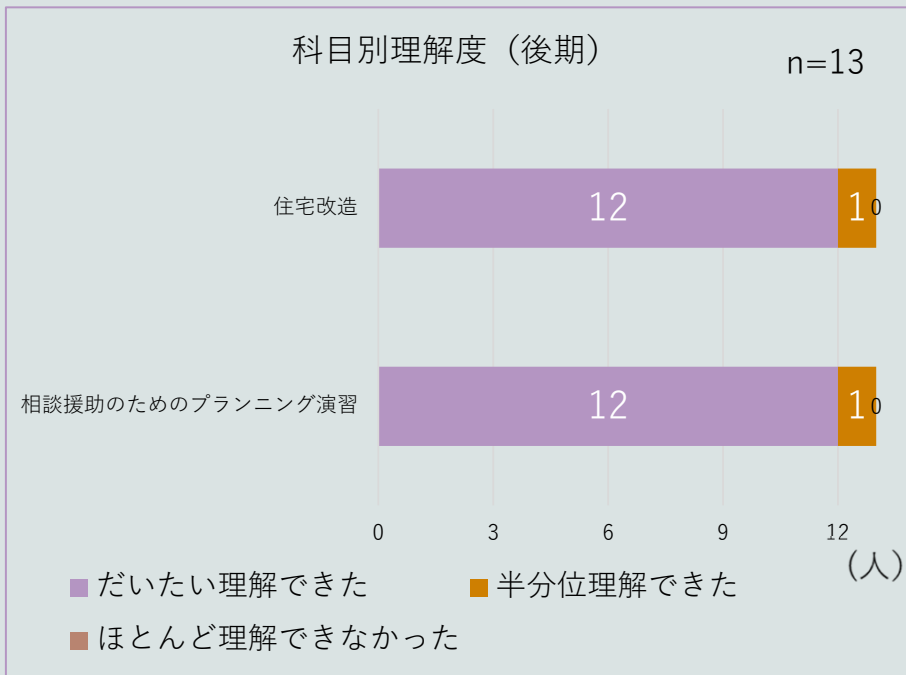
- 図面の書き方を改めて見直すことが出来て良かったです。
- アセスメント力が向上していると感じております。具体的には車いすの付属品等の選定と実際に座っている人の気持ちをよく理解することができました。
- これまでの業務上で自分が疎かにしていた部分があり、今後の活動で意識して改善すべき点が把握できた。グループワークを通じて、他の方の考え方を学ぶことができた。

やや満足を選択した理由

- 限られた時間内で説明して頂いたのですが、より現場に落とし込みしやすい事などについてメリハリをつけた説明があると活かしやすいと思います。
- 実際に演習でプランニングをしたので、この資格研修の直接的な部分を学べた。
- 研修に参加する事で知り得ない情報や、関わりについて知ることが出来た為。
- 現場に行かせる知識や同じ職域で頑張る方々と交流することができた。

※普通を選択した方は理由記載は無し

科目別理解度と研修の改善点

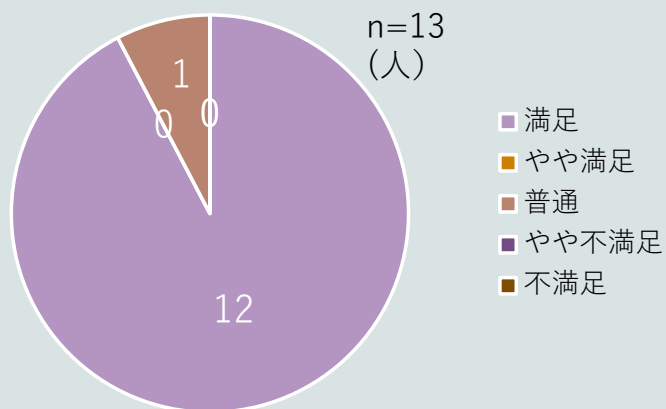


研修の改善点

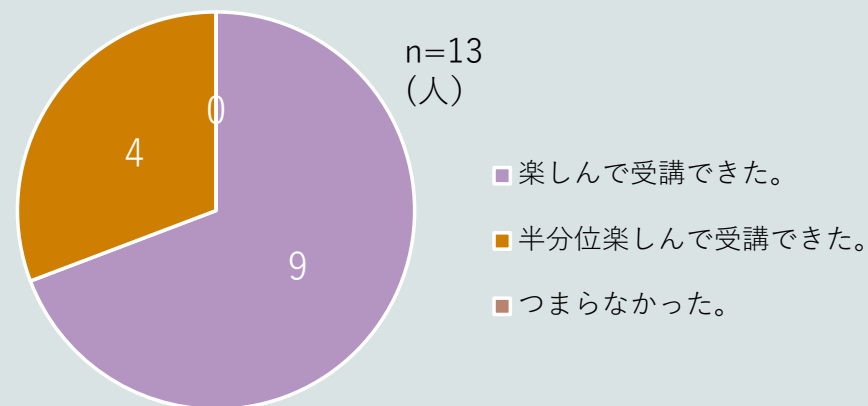
- グループで相談してのプランニングを2日に分けて2事例行ったが、その時間（数）をもっと増やしてより細かいフィードバックがあれば、より自分のスキルアップに繋がると思う。
- プランニング演習についてはもう少し時間を取っても良いのではないかと感じた。
理学療法士として参加したが、基礎知識として知っている内容もあった為、配分を変えても良いのではないかと。
理学療法士だけでなく福祉用具専門相談士や貸与業者が多く参加する事を想定していると思うので、難しいかと思うが...
- 車いすのメンテナンスについてもっと実技があるといいと思う。
具体的には、実際にここが劣化しているため直すなど、より実践向けな内容がいいかと思う。
- 前期に比べてグループワークが少なく、コミュニティが広がらなかったのが少し残念だった。
- テストの後に参加メンバーと名刺交換などをする時間があると良かったと思う。終わったメンバーから順次帰る形だったので。
- 試験の出題範囲と、講習内容をもう少しリンクできると助かる。
個人的に抜けていたのかもしれないが、研修で話されていない範囲の出題が数問あったと思った。
- スクリーンや講師側に時計が欲しかった。窓もない為時間の感覚が分かりにくい。

その他

スタッフの対応とサポート



楽しんで受講できたか（後期）



満足を選択した理由

- 献身的にサポートしていただき誠にありがとうございました。
- ホームケア財団の方、会場設営くださったフランスベッドの方に感謝いたします

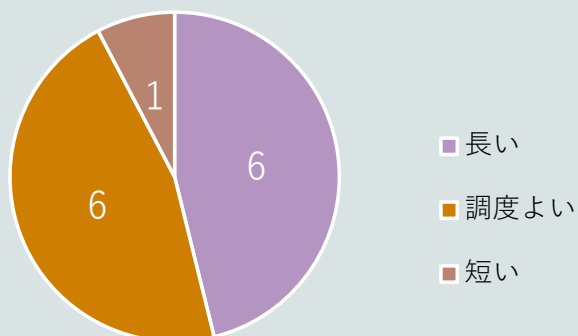
普通を選択した理由

- 滞りなく行っていたかと思います。

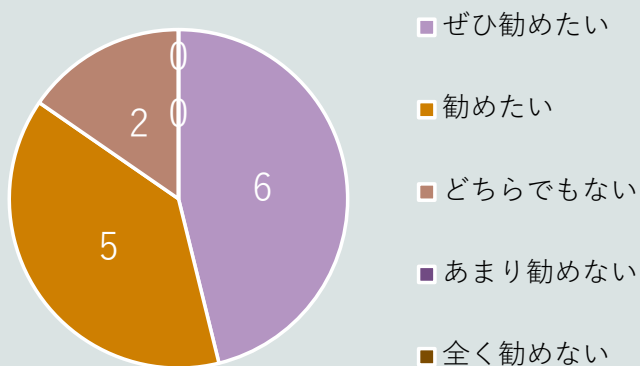


その他

講習期間



講習の推奨度



後期研修に関するご意見（自由記述）

- 4班に分けるのもいいと思ったが、もう少し全体的に入り乱れていろんな人とブレストできる環境もいいと思う。
- 後期に限らずだが、開催場所のアクセスが悪くて行き来が大変だった。
- 会場のアクセスがやや大変だった。(猛暑、雨)駅からの送迎バスなどがあると嬉しい。

eラーニングでの問題や困ったこと

- 質問に対しての問いではなく、質問に対して質問になっているところがあった。
- eラーニングと集合研修では密度が違うので、eラーニングを減らして集合研修の時間を多くした方が、よりプランニング能力が身につくと思う。
- システムの遷移がうまくかないところがあった。
- 実際のテストに出題される問題は少なかったが、傾向は理解できた

前後期通じてのご意見（自由記述）

- 一緒に講習を受けた人達と、最後に皆んなで労いを言い合いたいが、試験後に退室という状態の為それが出来なかった。
- 全体的には満足のいく講習かと思う。夏の時期ということもあり、アクセスだけがかなり大変だった。
- 大変お世話になりました。ありがとうございました。（2人）